

小山城 ライトアップ

吉田町片岡の能満寺山公園で、小山城と夜桜がライトアップされている。

菊川公園の桜が見頃

菊川市役所近くにある菊川公園の桜が見頃を迎えている。

(平成 30 年 3 月 30 日 中日新聞 朝刊)

反射炉ライトアップ

伊豆の国市は 4 月 8 日まで、同市の世界遺産・韮山反射炉のライトアップを実施している。反射炉を囲むように植えられているソメイヨシノの花が満開を迎え、反射炉と競演している。

ガーベラの病害 県内で国内初確認

県病害虫防除所は 29 日、県中部のハウスで栽培されているガーベラで、キク茎えそウイルスによる病害が国内で初めて確認されたと発表した。

(平成 30 年 3 月 30 日 静岡新聞 朝刊)

下田・蓮台寺 山あいの桃源郷

下田市蓮台寺地区で、「しだれ桃」の花が見頃を迎えた。地区住民が 30～40 年かけて植樹した山あいの桃源郷。区によると、集落の中心部に約 300 本、裏山や休耕田、蓮台寺川沿いなどを含めると、全部で約 500 本が植えられている。

(平成 30 年 3 月 29 日 静岡新聞 朝刊)

「桜のトンネル」伊豆高原

サクラの名所として知られる伊東市の伊豆高原桜並木で、ソメイヨシノが見頃を迎えている。道の両側から道路に覆いかぶさるように咲いて、「桜のトンネル」を創出している。

(平成 30 年 3 月 28 日 中日新聞 朝刊)

山里のしだれ桜 見頃

下田市堀之内の深根城で、しだれ桜が見頃を迎えた。山道を登った先に空が開ける「隠れた花見の名所」に巨木が薄紅色の花を咲かせている。

(平成 30 年 3 月 28 日 静岡新聞 朝刊)

河津町、バラ園再生へ

河津町が 2018 年度から、来園者が伸び悩んでいる町営バラ園「河津バガテル公園」の再生事業を始める。民間の資本やアイデアを導入する「公設民営」を視野に運営体制を見直すとともに、テナント誘致やライトアップなど園内をリニューアルする計画。

(平成 30 年 3 月 27 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-143

チューリップまつり

吉田町の吉田公園で 24 日、チューリップまつりが始まった。現在、5 分咲き。今月末に見頃を迎えそうだ。

しだれ桜見ごろ

三島市中田町の佐野美術館の庭園で大きなしだれ桜が見頃を迎えた。古い日本家屋「隆泉苑」や灯籠などと相まって美しい景観を作り出している。

(平成 30 年 3 月 25 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-142

ハマボウに津波減衰効果

西伊豆町の安良里地区まちづくり委員会はこのほど、静岡大の増沢武弘客員教授による講演会「網屋崎ハマボウの植栽について」を町中央公民館で開いた。ハマボウは海水の影響を受けず、根は地中の石を巻き込んで張るため、津波に耐える強さを持つ。

(平成 30 年 3 月 22 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-141

吉田公園 オキナグサ

うつむき加減の花が咲くオキナグサが、吉田町川尻の吉田公園で見頃を迎えている。3月上旬から咲き始め、今月いっぱいが見頃。

(平成 30 年 3 月 20 日 中日新聞 朝刊)

フラワーパークに適応指導教室

浜松市西区のはままつフラワーパークに、植物の観賞や栽培を通じて不登校の小中学生に学校復帰や社会的自立を支援する適応指導教室「くろーばー」が開設された。

(平成 30 年 3 月 19 日 静岡新聞 夕刊)

静岡 桜開花

静岡地方気象台は 18 日、静岡市で桜(ソメイヨシノ)が開花したと発表した。昨年より 15 日早く、平年より 7 日早い開花。

(平成 30 年 3 月 19 日 静岡新聞 朝刊)

ミツマタ 見頃

浜松市の天竜区で、和紙の原料になるミツマタの花が見頃を迎えている。

(平成 30 年 3 月 19 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-140

ハナモモ見頃

磐田市敷地の敷地里山公園で、ピンクの花を付けたハナモモが見頃を迎えている。園内には約 800 本が植えられ、4 月上旬まで楽しめる。

(平成 30 年 3 月 16 日 中日新聞 朝刊)

ブラックアイリス開花

浜松市西区のはままつフラワーパークで栽培している中東ヨルダンの国花「ブラックアイリス」が 14 日夜、一輪開花した。

(平成 30 年 3 月 16 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-139

伊豆の国フェア開幕

花の寄せ植え作品を集めた「花咲く伊豆の国フェア」が 14 日、同市の萑山反射炉芝生広場で始まった。約 200 点の寄せ植え作品を 18 日まで展示する。

世界のツバキ 200 種展示

静岡ツバキ会は 17 日、18 日の 2 日間、静岡市葵区のアイセル 21 で「第 24 回世界の椿展」を開く。

(平成 30 年 3 月 15 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-138

新種の桜 100 年ぶり発見

三重県や和歌山県など紀伊半島南部に咲く桜の新種が見つかった。ヤマザクラに似ているが、花の色や葉の大きさに違いがある。熊野川流域を中心に分布しており、「クモノザクラ」と名付けられた。

(平成 30 年 3 月 13 日 中日新聞 朝刊)

河津桜まつり来場者減

河津町や観光協会などで作る「河津桜まつり」実行委員会が 12 日発表した 2018 年の来場者は 89 万 3589 人で、前年を 4.6% 下回った。例年より見頃が遅れて、満開後は風雨で散り始めが早かった。

(平成 30 年 3 月 13 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-137

「宇宙桜」春野に植樹

中山間地域のスギ・ヒノキを切り開いてサクラを植樹し、観光名所作りを目指すプロジェクト「10 万本の桜」に取り組む、NPO 法人はるの山の楽校は 11 日、同町杉地区の自然体験施設「春野山の村」で宇宙を旅したサクラ「宇宙桜」の記念植樹会を開いた。

(平成 30 年 3 月 12 日 静岡新聞 朝刊)

浜松・滝沢の桜まつり

浜松市北区滝沢町の通称「でんでんころ」周辺で 10 日、滝沢の桜まつりがあり、満開の河津桜を楽しんだ。

(平成 30 年 3 月 12 日 中日新聞 朝刊)

掛川桜と城ライトアップ

見頃を迎えた掛川桜の夜間ライトアップが、掛川市の中心市街地を流れる逆川沿いで始まった。

(平成 30 年 3 月 11 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-136

造園業者ら松並木のこも外し

三島市の造園業者らがつくる三島環境緑化研究会は啓蟄の 6 日、三島市川原ヶ谷の国道 1 号沿いの箱根松並木に巻いたこもの取り外しを実施した。

(平成 30 年 3 月 8 日 静岡新聞 朝刊)

「帯桜」満開

島田市中央町の市役所駐車場脇にある早咲きのサクラ「帯桜」がほぼ満開となり、見頃を迎えた。専門機関の調査でアタミザクラに類似していることは分かったものの、品種名は特定できなかった。

(平成 30 年 3 月 8 日 中日新聞 朝刊)

伊東で大寒桜が見頃

伊東市の伊豆急行伊豆高原駅周辺で、早咲き種の大寒桜が見頃を迎え、淡いピンク色の花が行楽客を楽しませている。

(平成 30 年 3 月 7 日 中日新聞 朝刊)

21 日から浜名湖花フェスタ

今年もキャッチフレーズは日本の春は浜名湖から。浜名湖周辺の観光名所がイベントを展開する「浜名湖花フェスタ 2018」が 21 日、開幕する。

(平成 30 年 3 月 6 日 中日新聞 朝刊)

南伊豆で菜の花見ごろ

南伊豆町日野で、菜の花が見頃を迎えた。国道 136 号沿いに約 3ha の花畑が広がっている。

(平成 30 年 3 月 5 日 静岡新聞 朝刊)

あらさわ紅桜が見頃

御前崎市下朝比奈のあらさわふる里公園で、河津桜が 6～7 分咲きになり見頃を迎えた。遊歩道沿いに 230 本ほどの河津桜を植えて、「あらさわ紅桜」と呼んでいる。

(平成 30 年 3 月 3 日 中日新聞 朝刊)

小室桜の母樹が見頃

伊東市吉田の「萩原農園」で、伊東小室桜の母樹が見頃を迎えた。

(平成 30 年 3 月 2 日 中日新聞 朝刊)

しだれ梅見頃

掛川市下西郷の龍尾神社で、しだれ梅が見頃を迎えた。

(平成 30 年 3 月 1 日 中日新聞 朝刊)

湖西・大神山八幡宮で早咲き見頃

湖西市大知波の大神山八幡宮境内の早咲きサクラ「大知波桜」が満開となった。

(平成 30 年 2 月 28 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-135

柿田川公園の外来植物駆除

清水町の住民有志でつくる「柿田川湧水保全の会」は 24 日、柿田川の清掃活動に取り組んだ。水辺に繁殖した「ノハカタカラクサ」や「オオカワジシャ」などの外来植物を引き抜いた。

(平成 30 年 2 月 25 日 静岡新聞 朝刊)

相良梅園 梅見頃

牧之原市片浜の「相良梅園」で、梅が見頃を迎えている。約 1.5ha の園内に 20 種、700 本が植えられている。

(平成 30 年 2 月 24 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-134

在来植物の種を交換

在来植物を中心とした種の交換会「種市」がこのほど、浜松市天竜区春野町の秋葉神社前キャンプ場で初めて開かれた。3月末に廃止される主要農産物種子法をテーマに、県内有機農家らによるトークイベントも行った。

(平成 30 年 2 月 21 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-134

植物を守る菌 仕組み解明

大麦や牧草などの植物に生息する「共生菌」の生育に 2 種類の遺伝子が重要な役割を果たしていることを、名古屋大学大学院生命農学研究科の竹本大吾准教授らの研究チームが突きとめた。共生菌は宿主となる植物を虫や病原菌から守る働きをしており、農業生産の応用が期待される。

館山寺桜が咲き始める

浜松市西区館山寺町のはままつフラワーパークでは、町名を冠した館山寺桜が咲き始め、愛らしいピンク色の花が春の訪れを予感させた。

(平成 30 年 2 月 20 日 中日新聞 朝刊)

三島のせせらぎ亭

三島市中田町の食事どころ松韻の別邸「せせらぎ亭」で 19 日、梅祭りが始まった。庭園を無料開放し、園内に植えられたただれ梅も鑑賞できる。

小室山でツバキ観賞会

ツバキの名所で知られる伊東市の小室山公園つばき園で 3 月 11 日まで、「第 30 回ツバキ観賞会」が開かれている。約 1000 種、4000 本のツバキが植栽されている。

(平成 30 年 2 月 20 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-133

おおひと梅まつり

伊豆の国市の大仁神社境内と大仁梅林で 18 日、恒例の「おおひと梅まつり」が開かれた。約 80 種類 600 本の梅が植えられている同梅林は現在、四分咲きで、3 月上旬まで楽しめる見込み。

(平成 30 年 2 月 19 日 静岡新聞 朝刊)

袋井でまつり

袋井市の小笠山総合運動公園で 17 日、「まんぷく梅まつり」が始まった。園路沿いに約 300 本の梅が植栽されている会場に 16 店の飲食ブースが立ち並ぶ。多くの梅は一部咲き始めた状態。例年より 1 週間ほど遅れている。

熱海・初島 チューリップ見頃

熱海市初島のリゾート施設「初島アイランドリゾート」でチューリップが見頃を迎えた。施設内の南国風庭園「R-Asia」には、約 1 万本のチューリップが植えられている。3 月までは楽しめる。

(平成 30 年 2 月 18 日 静岡新聞 朝刊)

卒業控えモミジ植樹

卒業を間近に控えた伊豆市の修善寺地区 4 小学校の 6 年生が 16 日、イロハモミジの苗木 25 本の記念植樹を同市の修善寺自然公園もみじ林で実施した。

(平成 30 年 2 月 17 日 静岡新聞 朝刊)

牧水ゆかりのクロマツ保存

沼津市が駿河湾岸の景勝地「千本松原」で整備を進めている津波避難用の築山について、市は築山の敷地内に生えている 3 本のクロマツを移植せずに保存する方針を固めた。樹木医の調査で、クロマツの根の状態が悪く、移植すると枯れてしまう可能性がある。

焼津 桜の名所紹介

焼津市観光協会は、市内の桜の名所を紹介する「さくらマップ」を 1 万 2 千部作った。観光協会や市役所、各公民館で配布している。

(平成 30 年 2 月 16 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-132

防潮堤整備費 6 割減額

県は、南海トラフ巨大地震などに備える沿岸部の防潮堤整備で 2013～2022 年度の 10 年間で見込まれる事業費を、当初計画の 2183 億円から 829 億円に減らす。「地震・津波対策アクションプログラム 2013」を見直し、2022 年度末まで整備予定だった区間の大半を先送りした。

(平成 30 年 2 月 15 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-131

大井川鉄道沿線 アジサイ植え付け

大井川鉄道沿線に花を植えるグループ「大井川流域を花で満たす会」が 10 日、島田市川根町の大鉄川根温泉笹間渡駅近くにアジサイ約 60 種 70 本を植えた。

(平成 30 年 2 月 14 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-130

河津桜まつり開幕

伊豆半島に春の訪れを告げる「第 28 回河津桜まつり」が 10 日、河津町で始まった。今年は厳しい寒さの影響で、開花状況が前年より 10 日ほど遅いという。

修善寺「まつり」開幕

伊豆市の観光名所として知られる修善寺梅林で 10 日、「梅まつり」が開幕した。花はまだ咲き始めで、2 月下旬ころ見ごろを迎える見込み。

南伊豆でまつり

南伊豆町で 10 日、「みなみの桜と菜の花まつり」が始まった。中心分を流れる青野川沿いで早咲きの河津桜と黄色い菜の花が共演し、伊豆半島最南端の町に春の訪れを告げる。

(平成 30 年 2 月 11 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-129

マーガレット 都内中学に

JA 伊豆太陽は本年度初めて、南伊豆町特産で受験の縁起物とされるマーガレットを、同町が自治体連携している東京都杉並区内の 24 中学校にプレゼントする。開花しきっても花卉が落ちないマーガレットを「落ちない花」として受験シーズンに PR。区内の 3 年生の学級に 1 束ずつ届くように計 75 束送る。

(平成 30 年 2 月 9 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-128

森町・ロウバイ

森町体験の里「アクティ森」でロウバイの花が見頃を迎えた。敷地内には約 230 本が育っている。

(平成 30 年 2 月 8 日 中日新聞 朝刊)

枝物栽培

観賞用に枝物の花や木の需要が全国で高まる一方、一大生産地の浜松市北区では高齢化による出荷の減少が続いている。JA とびあ浜松は本年度、後継ぎが決まっていない生産農家の家族を対象に、栽培技術などを指導する就農支援に乗り出した。

(平成 30 年 2 月 7 日 静岡新聞 夕刊)

緑や樹木に関する記事 17-127

久能山東照宮 実割梅

静岡市駿河区の久能山東照宮で、白梅の実割梅が咲き始めた。熟すと種が二つに割れるのでその名が付けられた。

菊川で梅まつり

菊川市下平川の重要文化財「黒田家住宅」で、黒田家代官屋敷梅まつりが開かれている。3 月 4 日まで。

(平成 30 年 2 月 7 日 中日新聞 朝刊)

あたま桜

熱海市の中心街を流れる糸川沿いで早咲きの「あたま桜」が見頃を迎えた。

(平成 30 年 2 月 7 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-126

男性から女性に花を

県内の花卉産業関係者でつくる「花の国日本協議会静岡連合」は4日、フラワーバレンタインのPRイベントを静岡市葵区の静岡マルイで開いた。花の消費拡大に向け、欧米で定着しているバレンタインデーに男性から女性に花を贈る習慣を紹介した。

(平成 30 年 2 月 6 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-125

土肥桜 見頃

伊豆市土肥の万福寺では、早咲きで知られる土肥桜が見頃を迎えた。土肥桜は例年 1 月上旬に咲き始める早咲き種。同寺の境内では樹齢約 50 年の大木が満開となった。

(平成 30 年 2 月 4 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-124

富士山と梅が競演

富士市岩本の岩本山公園で 1 日、園内の梅や桜と富士山の眺望を楽しむイベント「絶景★富士山まるごと岩本山」がスタートする。4 月 8 日までの期間中、週末を中心に各種団体が多彩な企画を繰り広げる。

新国立競技場に天竜スギ材

浜松市天竜区の天竜国産材事業協同組合は 31 日、2020 年東京五輪・パラリンピックの主会場になる新国立競技場の建材に同組合が扱うスギ材を供給すると発表した。

(平成 30 年 2 月 1 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-123

浜松城公園 整備

浜松市は、浜松城公園の歴史的な価値を高めようと、発掘調査で見つかった本丸南側の石垣を、外部から見えるように整備を進めている。自然の石を加工せず積み上げた城特有の石垣を活用する。3 月末までに完了し、公開を始めたい考えだ。

(平成 30 年 1 月 29 日 中日新聞 朝刊)

ロウバイ開花

伊豆の国市南江間の北條寺の敷地内でロウバイ 250 本が開花し、甘い香りを漂わせている。2 月 28 日まで「ロウバイまつり」として開放している。例年より 2 週間ほど開花が遅れ、現在は 7 分咲き程度。

(平成 30 年 1 月 27 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-122

菜の花 開花ばらばら

2 月 10 日から「第 20 回みなみの桜と菜の花まつり」が開幕する南伊豆町で、菜の花の生育が遅れている。昨秋の台風や長雨、冬の低温の影響とみられ、開花はまばらだ。

(平成 30 年 1 月 24 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-121

三保松原で突堤工事

県は 20 日、静岡市清水区の名勝「三保松原」の景観改善を図ろうと、海岸保全のために設けていた消波ブロックに替わる「L 型突堤」の工事を始めた。

(平成 30 年 1 月 21 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-120

三島の源兵衛川が「世界水遺産」内定

三島市中心部を流れる源平衛川が、民間シンクタンク「世界水会議」が主催する「世界水遺産」に登録されることが内定した。同市の NPO 法人「グランドワーク三島」が 16 日、明らかにした。「世界水遺産」は、世界水会議が 2016 年の創立 20 周年を記念し、国際機関「国際かんがい排水委員会」と協力して創設された顕彰制度で、今回初めて登録が行われる。

(平成 30 年 1 月 17 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-119

河津桜 開花遅れる？

県農林技術研究所伊豆農業研究センターは 15 日、河津、南伊豆町内の河津桜が 2 分咲きとなる開花の時期を「2 月中旬以降の見込み」との予測を発表した。昨年 12 月から年末年始にかけて気温の低さが影響し、つぼみの生育が遅れている。

(平成 30 年 1 月 16 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-118

河津町の見本園、開花本格化

河津町田中の町営「かわづカーネーション見本園」で栽培しているカーネーションの開花が本格化している。町内で出荷されている 22 品種 6 千株と、市場に出していない試作品の 328 品種 8 千株を栽培している。

(平成 30 年 1 月 15 日 中日新聞 朝刊)

下田公園でツバキ開花

下田市 3 丁目の下田公園で、ツバキが開花している。城跡の園内には、161 種類、約 5 千本のツバキがあり、3 月上旬にかけて順次花を咲かせる。

(平成 30 年 1 月 13 日 静岡新聞 朝刊)

伐採ヒノキが当たり天竜の林業男性死亡

12 日午前 11 時半ごろ、浜松市天竜区神沢の山林で、伐採作業をしていた近くの林業藤原克己さんに、切り倒されたヒノキが当たった。藤原さんは頭などを強く打ち、間もなく死亡した。

(平成 30 年 1 月 13 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-117

大臣表彰記念 桜の苗木植樹

熱海市の熱海花の会は 11 日、2017 年に「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受けたのを記念し、同市東海岸町の熱海サンビーチ近くの花壇に大漁桜の苗木 1 本を植樹した。

(平成 30 年 1 月 12 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-116

スギ花粉は「平年並み」

県は 10 日、県内の今春のスギ花粉の飛散量を「平年並み」とする予測を発表した。今春の飛散量は、平年を大きく上回った昨年の約半分の予測。本格的な飛散開始時期は気温に影響されるが、2 月中旬ごろからとみられる。

(平成 30 年 1 月 11 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-115

三保松原 薬剤に頼らず保全

世界遺産富士山の構成資産の一つ、三保松原について、県と静岡市は 25 日、薬剤による松枯れ対策にめどがついたと判断し、薬剤に頼らない新たな管理方法に移行する方針を固めた。2017 年度中に具体的な管理体制や最適な対策に関する案を取りまとめる。

三保松原 54 本に倒伏予防措置

静岡市は 25 日の三保松原保全実行委員会で、三保松原のマツのうち、樹齢が古い老齢大木を対象に実施した緊急樹木診断の結果を公表した。倒伏予防措置が必要なマツは 54 本で、2017 年度中に対策を行う方針。

(平成 29 年 12 月 26 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-114

伊豆四季の花公園リニューアル

伊豆シャボテン動物公園グループが伊東市富戸で運営する「伊豆四季の花公園」が 24 日、園内展示を大幅改修し、「ニュー
ヨークランプ & フラワーミュージアム」としてリニューアルオープンした。

(平成 29 年 12 月 25 日 静岡新聞 朝刊)

「河津桜並木」中心街にも

県や河津町、かわづ花の会などで行われる「河津川流域の河津桜並木景観検討会」が 21 日、町役場で開かれた。老木化で将
来的な枯死が避けられない川沿いの桜並木について、県と町は中心市街地にも植栽してエリアを広げる案を示した。

(平成 29 年 12 月 22 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-113

湖西・知波田小 全国ビオトープ入賞

湖西市の知波田小学校の児童が守ってきたビオトープが先月、全国コンクールで日本生態系協会賞に選ばれ、二期連続、通
算三回目の入賞を果たした。

(平成 29 年 12 月 21 日 中日新聞 朝刊)

国土緑化運動ポスター

県グリーンバンクはこのほど、2018 年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールで、県内 4 人の作品が入賞したと
発表した。

(平成 29 年 12 月 21 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-112

天皇陛下献上 梅

熱海市が天皇誕生日を祝い、天皇陛下に毎年献上している紅白梅の枝切りが 19 日、同市梅園町の熱海梅園であった。市職
員が 21 日に宮内庁へ届ける。

島田の多目的広場

島田市は、同市伊太にある市営の「田代の郷温泉伊太和里の湯」の隣に、多目的スポーツ広場を整備する。19日に開かれた市議会全員協議会で、施設の内容や事業費が異なる三つの整備プランが示された。

(平成 29 年 12 月 20 日 中日新聞 朝刊)

水仙 300 万本

下田市須崎の爪木崎水仙園で 20 日、第 52 回水仙まつりが開幕する。300 万本が群生。まつりは 2018 年 2 月 10 日まで。

(平成 29 年 12 月 19 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-111

カーネーション見本園開園

河津町田中の町営かわづカーネーション見本園が 17 日、開園した。開発中の新品種を含む色彩豊かな 360 種、約 1 万 4 千株を觀賞できる。2018 年 5 月 13 日まで。

(平成 29 年 12 月 18 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-110

吉田特別支援学校 役場に花植え

吉田町片岡の吉田特別支援学校高等部の生徒たちが、町役場周辺で花の苗を植えた。花の苗植えは年 1 回で、今年は 2 年生 7 人がビオラやネメシアなどの苗 80 株を植栽した。

(平成 29 年 12 月 13 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-109

大田花きフラワー・オブ・ザ・イヤー

花き卸売国内最大手の大田花きで取り扱った花きの中で最も魅力ある品種に贈る本年度の「フラワー・オブ・ザ・イヤーOTA」の表彰式が 8 日、同区の大田市場で行われた。最優秀賞に浜松市西区の野島茂一郎さんが生産した「シャクヤク エッチドサーモン」が選ばれた。

「あたま桜」開花

早咲きで知られる熱海市の「あたま桜」の開花が始まった。7日、市職員が熱海市梅園前の1本で、花が咲いているのを確認した。

(平成29年12月9日 静岡新聞 朝刊)

シダレヤナギを枝打ち

新年を迎えるのを前に、三島市の大宮町の桜川沿いで6日、シダレヤナギの枝打ちが行われた。造園業6人が白滝公園近くから三嶋大社までの400mに生える22本を剪定した。

(平成29年12月9日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-108

花鉢 浜松で競り

クリスマスや年末年始に向けた花鉢の競りが7日、浜松市西区湖東町の浜松生花地方卸売市場であった。色鮮やかなポインセチアやコチョウラン、シクラメンなど約4万5千鉢が競りにかけられた。

(平成29年12月8日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-107

アロエ花まつり開幕

下田市白浜で2018年1月8日まで、「アロエの花まつり」が開かれている。海岸沿いにキダチアロエ約3万株が群生し、ユニークなとんがり形の花が潮風に揺れている。

(平成29年12月7日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-106

マーガレット 夏対策

県農林技術研究所伊豆農業研究センターは5日、マーガレットの研究会を南伊豆町伊浜地区で開いた。地球温暖化などで問題になっている夏枯れ対策として県が開発中の新品種を生産者に紹介した。

(平成29年12月6日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-105

季節外れの河津桜

河津町や下田市など伊豆半島南部で、河津桜が開花している。寒暖の差による「狂い咲き」とみられ、季節外れの12月に濃いピンク色の花があちこちでお目見えしている。

(平成29年12月4日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-104

伊東の一碧湖

伊東市の一碧湖畔で紅葉が見頃を迎えている。見ごろは12月初旬まで。湖畔にはイチヨウやケヤキ、モミジなどが多くあり、赤や黄、薄茶色など色とりどりに葉を染めて湖面を彩っている。

(平成29年11月30日 中日新聞 朝刊)

京都の杉 高さ日本一

林野庁は28日、京都市左京区の大悲山国有林にある「花脊の三本杉」のうち1本が、樹木としては日本一の高さとなる62.3mであることを確認したと明らかにした。

(平成29年11月29日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-103

天竜の光明寺 桜と紅葉

浜松市天竜区山東の光明山光明寺の境内で四季桜が咲き乱れ、紅葉したモミジとの競演が訪れた人たちを魅了している。

(平成29年11月28日 中日新聞 朝刊)

熱海・MOA美術館

熱海市のMOA美術館は25日夜、同美術館敷地内にある「茶の庭」の木々をライトアップするイベント「紅葉のプレミアムサタデー」を開いた。一日限定の特別企画。

(平成 29 年 11 月 28 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-102

紅葉・熱海梅園

熱海市梅園町の熱海梅園で、モミジの紅葉が見頃を迎えている。4.4ha の梅園にはカエデ類が 380 本ある。12 月 3 日まで「もみじまつり」開催。

紅葉・修善寺

伊豆市修善寺の修善寺自然公園で、紅葉が色づき見頃を迎えている。公園には約千本のモミジが生えている。

(平成 29 年 11 月 27 日 中日新聞 朝刊)

はままつフラワーパーク

浜松市西区館山寺町の「はままつフラワーパーク」で 25 日、100 万球の電飾が園内を彩る「フラワー・イルミネーション」が始まった。来年の 1 月 14 日まで。

(平成 29 年 11 月 26 日 中日新聞 朝刊)

熱海梅園で梅 1 輪

熱海市は 24 日、早咲きの梅の名所として知られる同市の熱海梅園で開花が確認されたと発表した。時期は例年並みという。

(平成 29 年 11 月 25 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-101

御殿場・秩父宮記念公園

御殿場市東田中の秩父宮記念公園で 24 日から、紅葉まつりが開かれる。まつりは 24～26 日と、12 月 1 日～3 日に行う。ライトアップは午後 5 時から。

熱海の植物研究園

熱海市相の原町の新技術開発財団・植物研究園で23日、秋の一般公開が始まった。29日まで。広さ12270㎡の園内ではイロハモミジなどの木々が鮮やかな赤や黄色に染まっている。

(平成29年11月24日 静岡新聞 朝刊)

修善寺 虹の郷

伊豆市の修善寺虹の郷で、紅葉シーズンに合わせた夜間イベント「もみじライトアップ」が始まり、連日多くの来園者で賑わっている。12月3日まで。

(平成29年11月21日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-100

香川・全国育樹祭

香川県を訪問中の皇太子ご夫妻は19日、同県まんのう町の県満濃池森林公園を訪れ、第41回全国育樹祭の式典に出席された。

(平成29年11月20日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-99

掛川でフラワーフェス

「掛川市フラワーフェスティバル2017」が11、12日の両日、同市御所原の市生涯学習センターであり、切り花や鉢植えの販売をはじめ、寄せ植え体験などで賑わった。

(平成29年11月15日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-98

フルーツパークに光のトンネル

浜松市北区都田町の果樹公園「はまつフラワーパーク時の栖」で 11 日、冬のイルミネーションの点灯が始まった。色とりどりの LED 電球約 300 万個を使った県西部最大規模。

(平成 29 年 11 月 12 日 静岡新聞 朝刊)

「ざる菊」600 鉢並ぶ

熱海市の NPO 法人グランベルデが同市泉で運営している庭園「ハルカスガーデン」で 26 日まで、イベント「華菊フェスティバル」が開かれている。

(平成 29 年 11 月 11 日 静岡新聞 朝刊)

浜松・マユミの実

浜松市浜北区の万葉の森公園で、白い殻を破って顔を出すマユミの赤い実が人目を引いている。

(平成 29 年 11 月 11 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-97

富士宮 ジュウガツザクラ

富士宮市の富士山さくらの園でジュウガツザクラが見ごろを迎え始めた。ジュウガツザクラは春と秋の年 2 回開花する桜。

(平成 29 年 11 月 10 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-96

熱海・ヒマラヤザクラ

熱海市は、同市渚町の親水公園に植わる 2 本のヒマラヤザクラの開花が 7 日に確認されたと発表した。市公園緑地課によると、これまで最も早かった 2009 年と 2014 年の 11 月 17 日より早い開花という。

(平成 29 年 11 月 9 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-95

沼津御用邸記念公園 「こも巻き」

松の害虫を駆除するための作業「こも巻き」が7日、沼津市の御用邸記念公園で行われた。愛鷹山森林組合が「立冬」の日に行う恒例の奉仕行事で、今年が28年目。

函南町フラワー通り 小菊見頃

函南町柏谷の「柏谷フラワー通り」の小菊が見頃を迎えている。小菊は1本当たりの花の数が多く、色の種類も豊富なのが特徴。40cm～50cmほどの高さの花が約400本植えられている。

(平成29年11月8日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-94

県菊花展浜松大会

県菊花展浜松大会が5日、浜松市西区の市農村環境改善センターで始まった。県内各地の愛好家らが寄せた華やかな菊約230点を展示している。6日まで。

(平成29年11月6日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-93

白糸自然公園 ざる菊

富士宮市原の白糸自然公園で、秋を彩るざる菊が見頃を迎え、ざるを伏せたような丸形状に成長した約1300株が来園者の目を楽しませている。

(平成29年11月2日 静岡新聞 朝刊)

小国神社で菊花展

菊の愛好者でつくる森町菊盛会による2017年度菊花大会が、森町一宮の小国神社で開かれている。14日まで。

(平成29年11月2日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-92

三島・楽寿園 まつり始まる

三島市の秋の風物詩「第 65 回楽寿園菊まつり」が 31 日、同園で始まった。敷地内に 6 千鉢以上の菊が並ぶ。「箱根八里」をテーマに、神奈川県小田原市から三島市をつなぐ箱根旧街道に見立てた「菊の散策路」を作った。

(平成 29 年 11 月 1 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-91

成長早く 花粉少ないヒノキ

富士市内の県試験林に植えられているヒノキ 3 本が、従来の品種に比べ成長が極めて早く花粉飛散量が少ないとして、農林水産大臣から「特定母樹」の指定を受けた。特定母樹は、同じ樹齢の樹木に比べて体積が 1.5 倍以上あり、強度が平均値以上、花粉の飛散量がおおむね半分以下などの基準を満たした樹木で、法律に基づき指定されている。

(平成 29 年 10 月 31 日 中日新聞 朝刊)

全国花のまちづくり審査入選

パノラマ遊花の里で菜の花やコスモス畑を栽培・管理している「市パノラマロードを花でいっぱいにする会」が、第 27 回全国花のまちづくりコンクールで入選した。

(平成 29 年 10 月 31 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-90

古谿荘 特別公開

富士市岩淵の国指定文化財「古谿荘」で 28 日、庭園の特別公開が行われ、市民が散策を楽しんだ。古谿荘は土佐藩出身の幕末の志士で、明治期に宮内大臣を務めた田中光顕が富士川西岸の高台に建てた別荘。

(平成 29 年 10 月 29 日 静岡新聞 朝刊)

庭園デザイナーと花巡り

「ふじのくに花の都しずおかワークショップ」が 26 日、湖西市古見の市健康福祉センターであり、50 人が参加した。庭園デザイナーの石原和幸さんが講師を務めた。

(平成 29 年 10 月 28 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-89

ざる菊アート出現

富士宮市下条の畑に世界遺産富士山を模したざる菊(クッションマム)のアートが出現している。地域住民でつくる南条の里農地保全会の会員が約 900 株を植栽した。

(平成 29 年 10 月 25 日 静岡新聞 朝刊)

NPO 創設 15 周年記念し植樹

富士山植樹ボランティアや東日本大震災の被災地での植樹活動など県内外で緑化活動に取り組む三島市の NPO 法人「三島みどりの会」は 21 日、創設 15 周年の記念植樹を同市の中郷温水池公園で実施した。

(平成 29 年 10 月 24 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-88

知事表彰 42 人 8 団体

県は 21 日、2017 年度知事表彰の受賞者・団体を発表した。地方自治、産業開発振興、社会福祉などの各分野で県の発展に尽力した 42 人と 8 団体が受賞した。表彰式は 11 月 3 日に県庁で開く。当協会の前会長である片桐利男氏が環境保全部門で受賞した。

(平成 29 年 10 月 22 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-87

歴史的建造物 5 件 初指定

三島市は 18 日までに、歴史的風致維持向上計画に位置付けた重点区域内にある築後 50 年を経過した民間所有の現役建造物 5 件を「歴史的風致形成建造物」に指定した。

(平成 29 年 10 月 19 日 静岡新聞 朝刊)

島田で秋のフェス

島田市ばらの丘公園で、色とりどりのバラが見頃を迎え、恒例の秋のフェスティバルが開かれている。11月12日まで。約1.9haの敷地では、世界中の約360種、8700株のバラを栽培している。

(平成29年10月19日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-86

花粉の飛散、来春は少なめ

民間気象会社「ウェザーニューズ」が来春の花粉飛散予想を16日までに公表した。この夏の記録的な日照不足の影響などで、東日本を中心に平年を下回る地域が多く、半分以上となる地域もありそうだ。全国平均は平年の65%と予想している。本県は32%。

(平成29年10月17日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-85

「浜松花と緑の祭」

花や草木に親しむ「浜松花と緑の祭」が14日、浜松市中区のアクト通りなどで始まった。花苗や植木の販売、ボランティア団体の活動紹介、間伐材製品の紹介、季節の生鮮品販売といった43ブースが並び、通りは花飾りや寄せ植えで彩られた。

防災林で下刈り

掛川市が整備を進める海岸防災林で14日、育樹祭があり、市民や協力企業、市関係者らが樹木の下草刈りに汗を流した。

(平成29年10月15日 中日新聞 朝刊)

河津バガテル公園で見頃

河津町峰の町営バラ園「河津バガテル公園」で、秋バラが見頃を迎えている。寒暖の差が大きくなる秋のバラは一段と色鮮やかで香りが強い。約1100品種、6千株が植えられている。

(平成29年10月14日 静岡新聞 朝刊)

河津でワークショップ

県と河津町は 11、12 日の両日、「河津桜並木のワークショップ」を保健福祉センターで開いた。町内の河津川沿いで最大の観光資源である桜並木の老木化が進む中、新しい景観づくりに向けたアイデアを出し合った。

(平成 29 年 10 月 13 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-84

生物多様性保全へ戦略

県は 2017 年度、本県の生物多様性を保全・継承するための指針となる生物多様性地域戦略(18～27 年度)を策定する。行政、県民、事業者の行動計画を示すとともに、管理指標と目標値を設定して戦略の進捗をチェックする。

(平成 29 年 10 月 12 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-83

ススキ大草原

東伊豆町稲取の細野高原で 7 日、「秋のススキイベント」が始まった。東京ドーム 26 個分、125ha のススキの大草原は国内最大級。今月中旬から下旬が見頃。

(平成 29 年 10 月 8 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-82

「秋バラフェス」始まる

河津町峰の町営バラ園「河津バガテル公園」で 10 月から、秋バラフェスタが始まった。1100 品種、6 千株が植栽されている幾何学模様のフランス式庭園で、今月中旬に見頃を迎える。

住人に伐採費請求棄却

浜松市南区の民家敷地内から市道上にはみ出た樹木の枝を伐採した費用約 40 万円について、同市が住人の男性に全額の支払いを求めた訴訟の控訴審判決が 5 日、静岡地裁であった。「準委任契約に基づく費用償還債務を負わない」と、一審浜松簡裁判決を取り消し、請求を棄却した。

(平成 29 年 10 月 6 日 静岡新聞 朝刊)

「河津桜」植替え困難

河津町の河津川沿いで、早咲きで知られる「河津桜」が老木化している。古木は樹齢 50 年を超え、“新陳代謝”が必要だが、河川法改正で大半の樹木は堤防で植替えがきかない。町と河川管理者の県は 2017 年度中に流域計画を策定する方針で、治水対策を踏まえた新たな桜並木の景観づくりを目指す。

外来植物 駆除後は紙に

静岡市葵区的环境学習支援施設「北沼上資源循環学習プラザ」が、特定外来生物に指定されているキク科の多年草オオキンケイギクを利用した紙作りに取り組んでいる。

(平成 29 年 10 月 5 日 静岡新聞 夕刊)

緑や樹木に関する記事 17-81

ホタルの里で草刈り

小山町内でホタルの生態調査や研究活動に取り組む小山町ホタルの里づくり推進協議会は 2 日、町生涯学習センター内に整備されたホタルの里で清掃活動を実施した。

(平成 29 年 10 月 4 日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-80

県景観賞 ガーデンシティみしま

県や建築関係団体などでつくる「美しいしずおか景観推進協議会」はこのほど、第 10 回県景観賞の受賞地区を発表した。最優秀賞の県知事賞には三島市の「ガーデンシティみしまのシンボルロード『花飾り』と『袖看板』」を選出した。

植生保全へ草刈り

県とふじさんネットワークはこのほど、富士宮市朝霧高原の根原県有地で草原性植生保全活動体験を開いた。NPO 法人富士山自然の森づくりが協力し、会員と公募の県民約 50 人が草刈りに汗を流した。

(平成 29 年 10 月 3 日 静岡新聞 朝刊)

国際ワークキャンプ

国内外のボランティアが宿泊しながら地域の支援活動に取り組む「国際ワークキャンプ 2017in 掛川」が 2 日、掛川市倉真地区で始まった。ドイツ、メキシコ、インドネシア、日本の 4 か国の学生ボランティアが 11 日まで、植樹地で雑草の下草刈りなどに取り組む。

(平成 29 年 10 月 3 日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 17-79

浜名湖ガーデンパーク「フェスタ」

花や芸術、スポーツを通して秋を楽しむ「オータムフェスタ」が、浜松市西区の浜名湖ガーデンパークで開かれている。11 月 5 日まで。「花ひろば」には 40 万本のコスモスが植えられている。

(平成 29 年 10 月 2 日 中日新聞 朝刊)

防災林復活へ

浜松市中区の浜松ロータリークラブは 30 日、同市南区江之島町の遠州灘沿いで築堤が完了した防潮堤の五島地区で、クロマツやヤマモモなどの苗木 60 本を植えた。

(平成 29 年 10 月 1 日 中日新聞 朝刊)